

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
須賀川地方保健環境組合	須賀川市、鏡石町、天栄村	平成25年度～令和元年度	平成25年度～令和元年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成23年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	6,353 t	6,287 t	6,879 t 797.0%
	1事業所当たりの排出量	1.43 t	1.41 t	1.63 t -1000.0%
	生活系 総排出量	28,083 t	23,396 t	25,324 t 58.7%
	1事業所当たりの排出量	250 kg/人	211 kg/人	240 kg/人 25.6%
合 計 事業系生活系総排出量合計	34,436 t	29,683 t	32,203 t 47.1%	
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	5,243 t	4,454 t	3,344 t 240.7%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	4,341 t	3,520 t	4,592 t -30.6%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

<ごみ処理>

●排出量

- ・令和2年度の実績は32,203tであり、令和2年度目標値を達成できなかった。
- ・目標を達成できなかった要因は、以下のとおりである。

①生活系総排出量の令和2年度実績は減少傾向にはあるものの、目標値達成ができなかった。人口も減少傾向となっているが、新型コロナウイルスの影響による生活様式の変化により、一人当たりのごみの排出が従前より増加し、減少幅が少なくなった。

②事業系総排出量の令和2年度目標値は、減少傾向と見込んでいたが、震災後に急増し、その後も高止まりのまま推移するなど、排出傾向に大きな変化が生じたこと。

●再生利用量

- ・令和2年度の実績は4,454t（リサイクル率14.3%）であり、令和2年度目標値を達成できなかった。
- ・目標達成できなかった要因は、紙類回収量の減少である。電子化によるペーパーレスなど生活様式の変化が生じて、減少傾向が顕著となっている。

●最終処分場

- ・令和2年度の実績は、4,592tであり、令和2年度の目標値を達成できなかった。
- ・目標を達成できなかった要因は、「排出量」及び「再生利用量」が目標を達成できていないため。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和7年度まで（第二期循環型社会形成推進地域計画目標年度）

<ごみ処理>

新たに作成した須賀川地方保健環境組合循環型社会形成推進地域計画（第二期）及び一般廃棄物処理基本計画において、今後の要点として「分別の徹底の推進」「焼却残渣率や最終処分率の低減」「リサイクル率の向上」を掲げており、構成市町村と連携して、目標達成に向けた取り組みを推進することとしている。

目標達成に向けて、震災復興に係る経済活動の活性化や新型コロナウイルスによる社会情勢の変化、ごみの排出動向の変化などを踏まえながら、ごみの分別やリサイクルへの取り組みを周知する。

(都道府県知事の所見)

目標が達成できなかった要因については、考察されているとおり経済活動やごみの排出動向の変化等、社会の変化が要因と考えられる。上記方策を実施しつつ、社会の変化に対して柔軟に対策を追加し、排出量の削減及び再生利用割合の増加に努められたい。